

資料

- 1 大野市生涯学習推進計画の策定経過
- 2 生涯学習に関する世論調査（抜粋）
- 3 委員名簿

1 大野市生涯学習推進計画の策定経過

年月日	内容
令和3年(2021年) 6月25日(金)	第1回策定委員会 ・委員長、副委員長の選任 ・計画策定経緯、生涯学習の現状と課題について ・計画策定スケジュール、骨子案について
8月11日(水)	第2回策定委員会 ・内閣府世論調査、生涯学習事業で実施したアンケートについて ・骨子案について
9月28日(火)	第3回策定委員会 ・計画素案について
11月4日(木)	第4回策定委員会 ・計画素案について
12月1日(水)～ 12月15日(水)	パブリックコメント
令和4年(2022年) 1月21日(金)	第5回策定委員会 ・計画素案について

2 生涯学習に関する世論調査抜粋（内閣府実施）

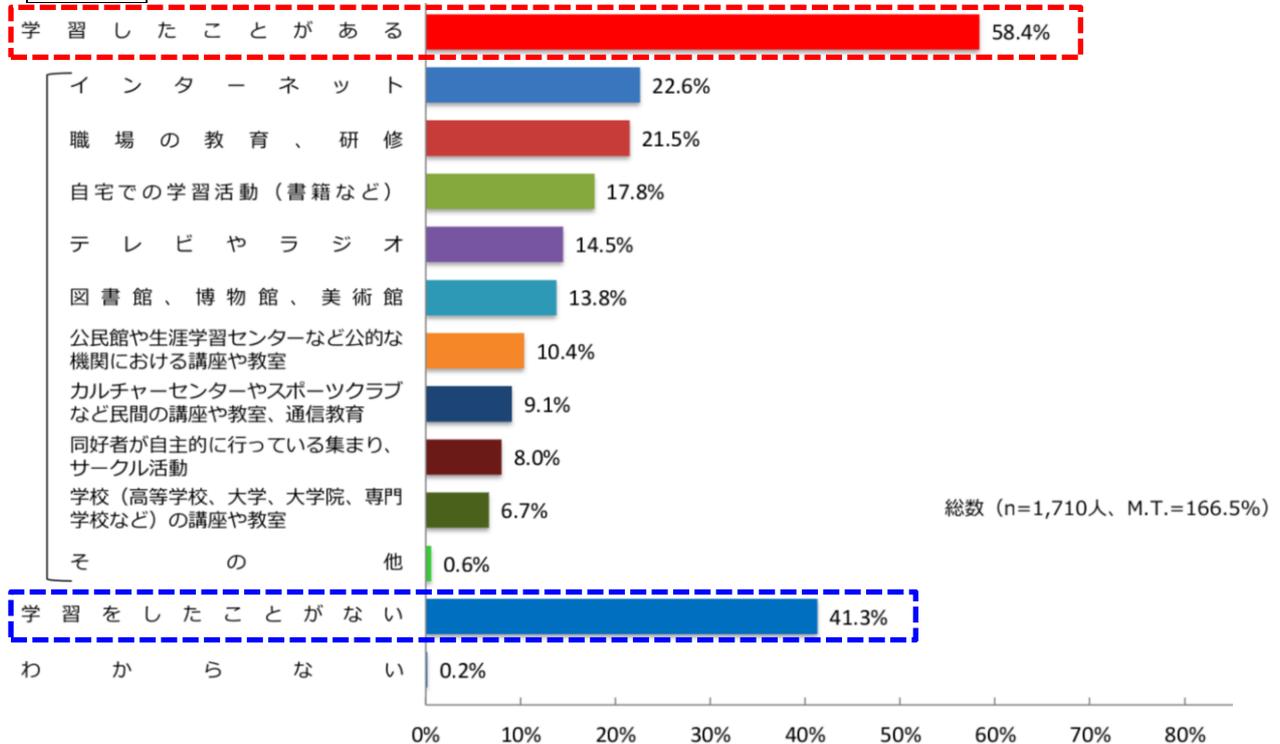
調査年月 平成30年6月～7月

調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有するもの3,000人
回収数1,710人（回収率57.0%）

（1）この1年間の学習の形式

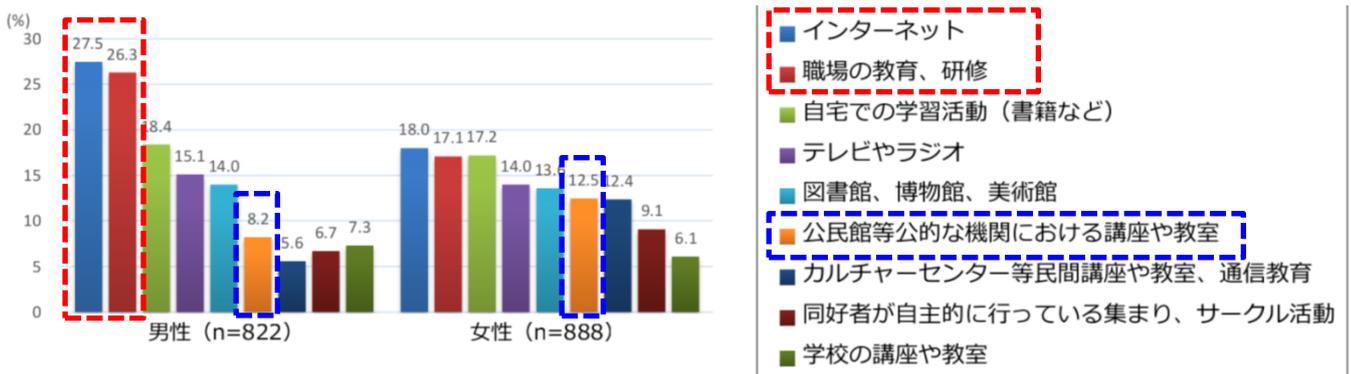
問1：あなたは、この1年間の間にどのような場所や形態で学習をしたことがありますか。
（複数回答）

結果1



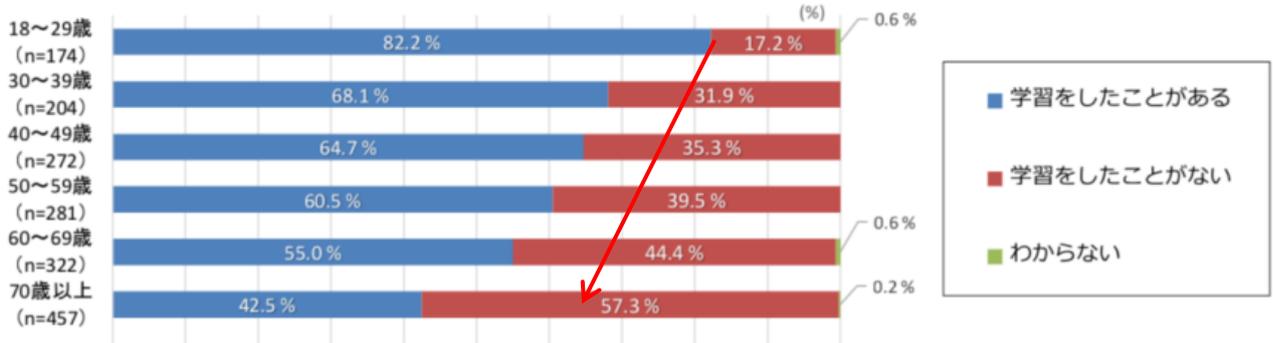
結果2：男女別の学習の形式

- ・男女とも「インターネット」の回答が最も多いが、特に男性は「インターネット」、「職場の教育、研修」の回答が顕著に多い。
- ・「公民館等公的な機関における講座や教室」の回答が少ない。



結果3：年代別の学習の有無

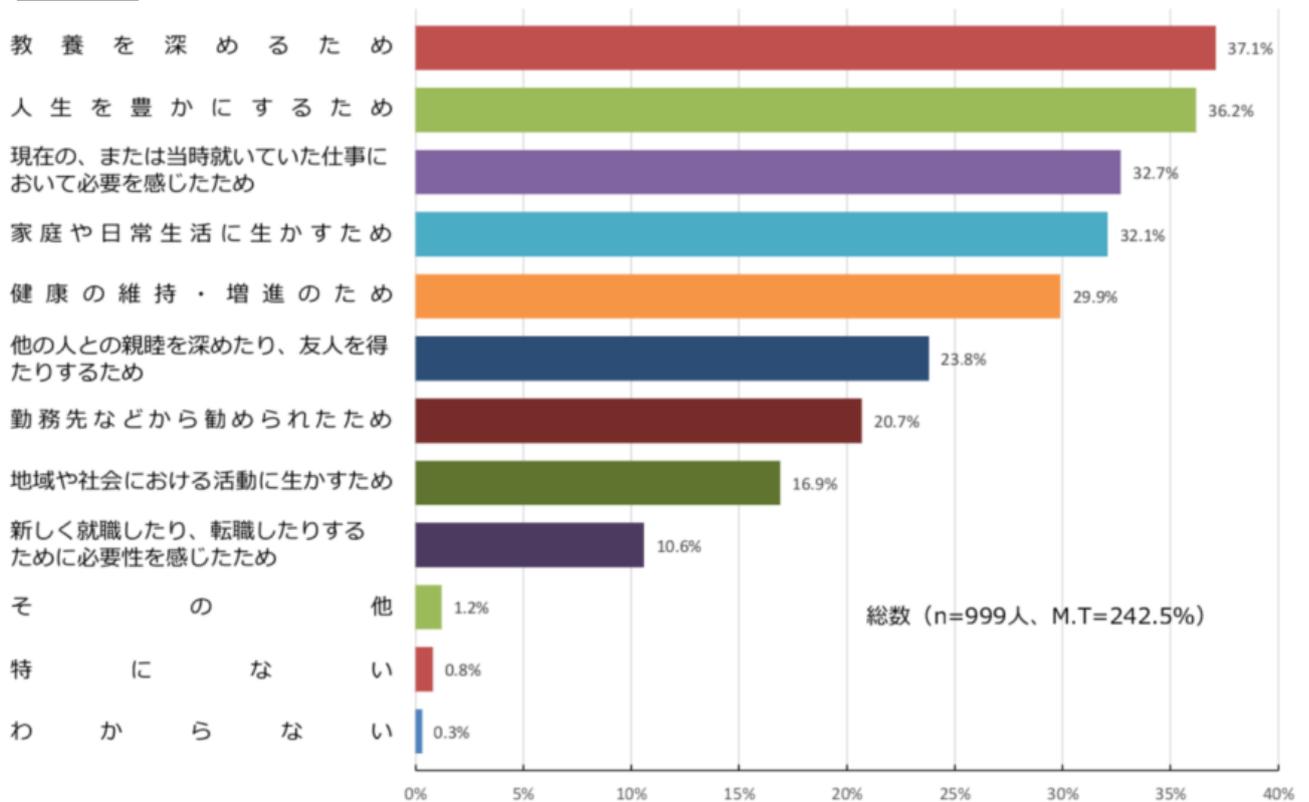
・「学習をしたことがない」との回答が年代とともに増加。



(2) 学習をした理由

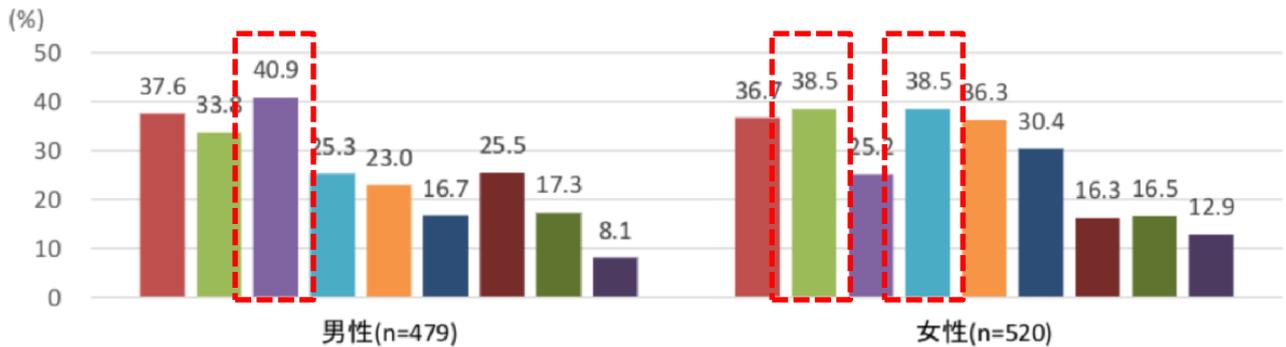
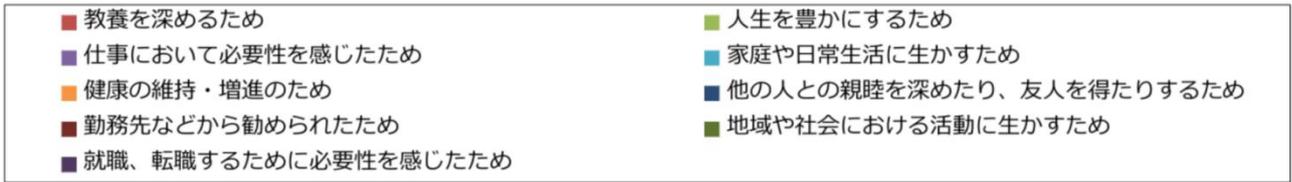
問2：(学習をしたことがあると答えた999人に対し) 学習した理由は何ですか。
(複数回答)

結果1



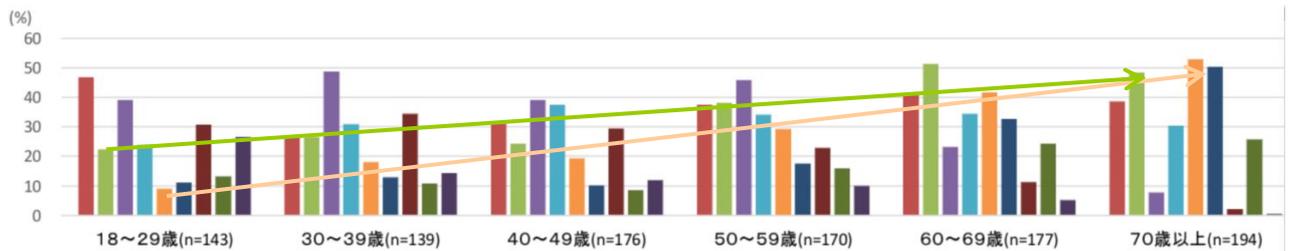
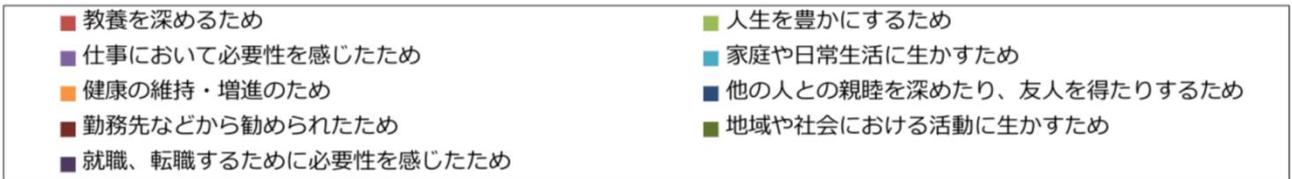
結果2：男女別の学習の理由

- ・男性では「仕事において必要性を感じたため」が最も多い。
- ・女性では「人生を豊かにするため」及び「家庭や日常生活に生かすため」が最も多い。



結果3：年代別の学習の理由

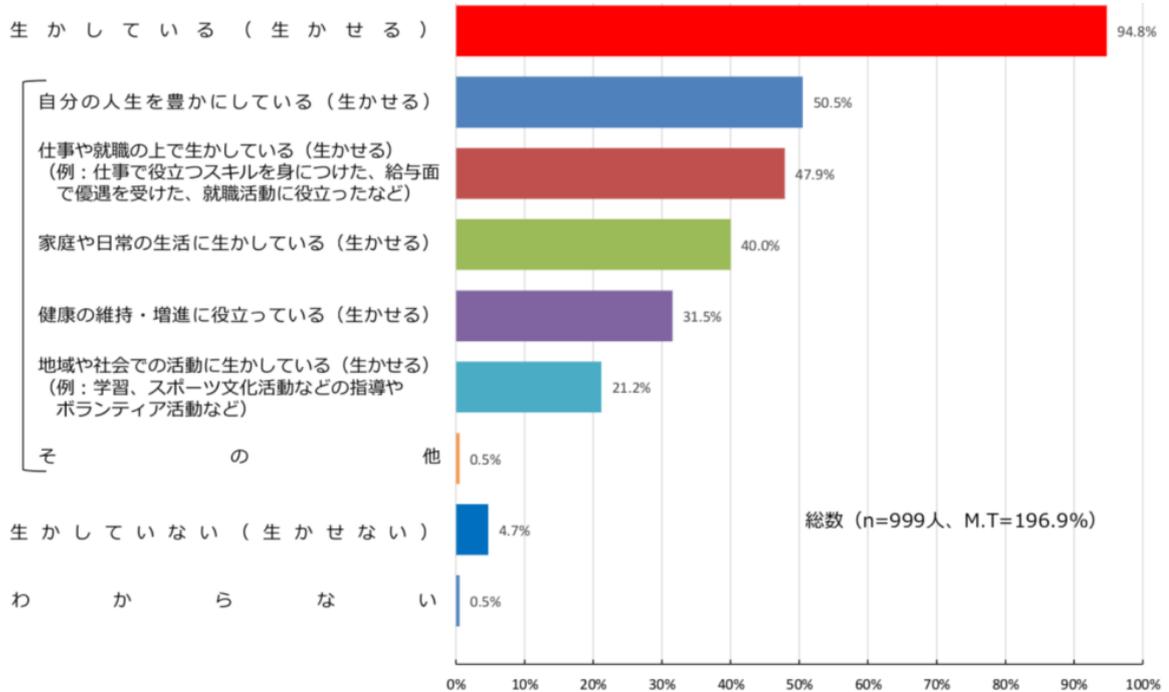
- ・30～50代は「仕事において必要性を感じたため」が最も多い。
- ・年代が上がるにつれ「人生を豊かにするため」、「健康の維持・増進のため」が増加傾向。



(3) 学習成果の活用状況

問3：(学習をしたことがあると答えた999人に対し) 学習した成果をどのように生かしていますか。あるいは生かせると思いますか。(複数回答)

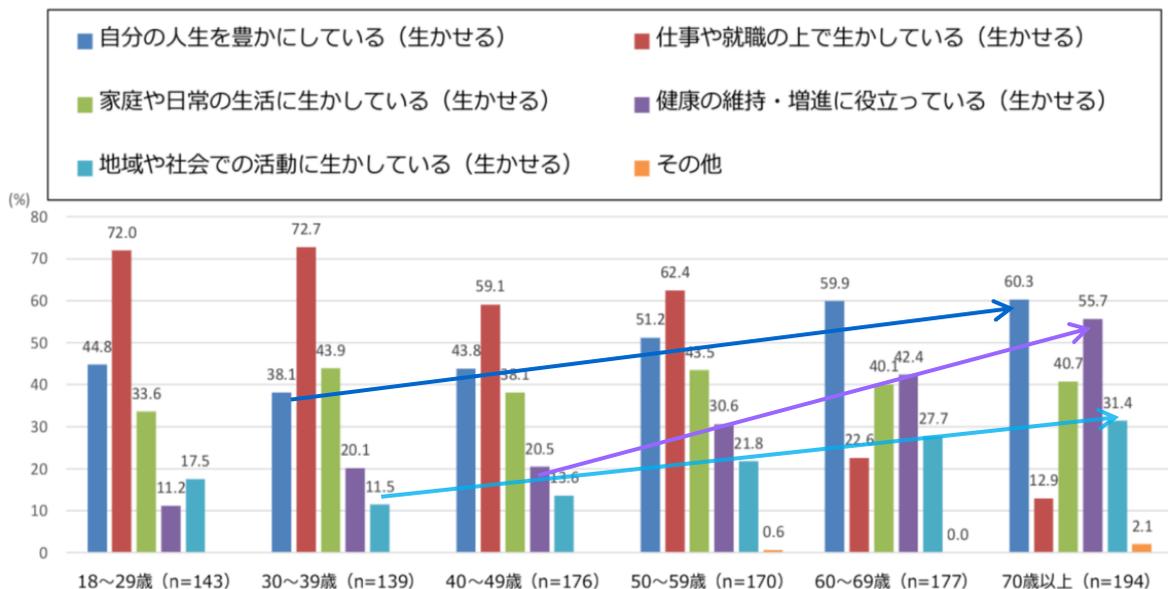
結果1



結果2：年代別の学習成果の活用

学習したことがあると回答かつ学習成果を「生かしている(生かせる)」と回答した方のうち、

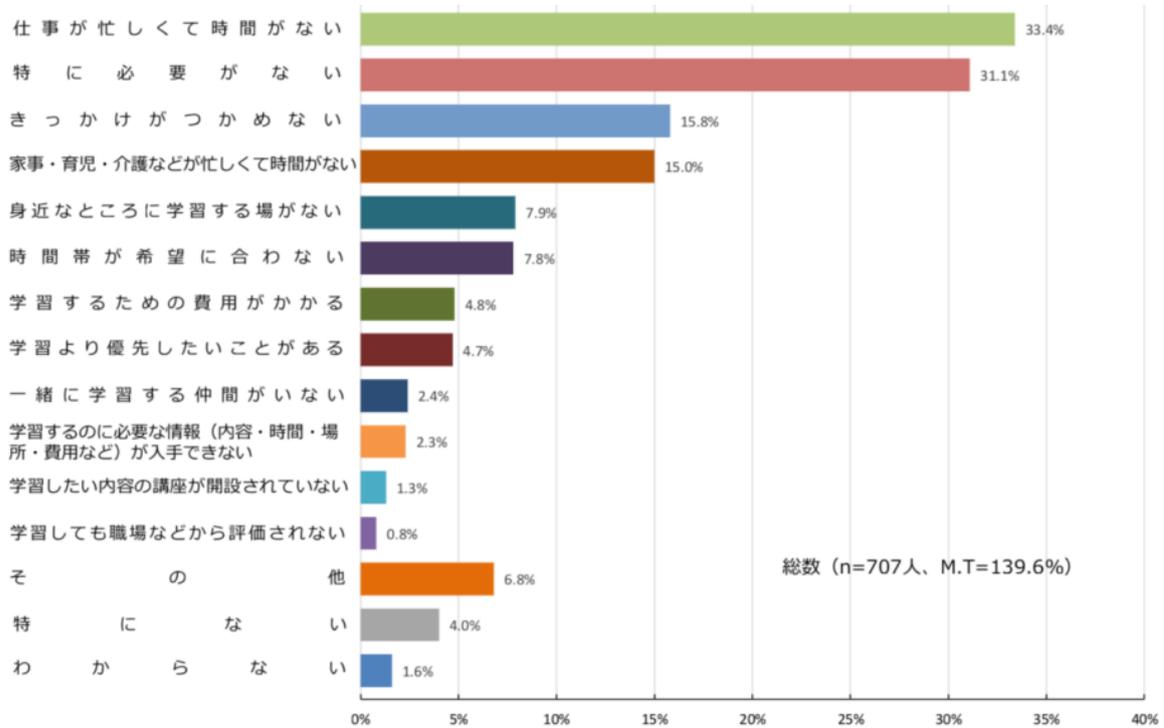
- ・50代以下の各年代は、学習成果を「仕事や就職の上で生かしている」の回答割合が最大であり、半数以上がこの回答を選択している。
- ・「自分の人生を豊かにしている」、「健康の維持・増進に役立っている」、「地域や社会での活動に生かしている」の回答は、年代が上がるにつれて増加傾向。



(4) 学習をしない理由

問4：(問1で学習をしたことがないと答えた707人に対し) 学習したことがない理由は何ですか。(複数回答)

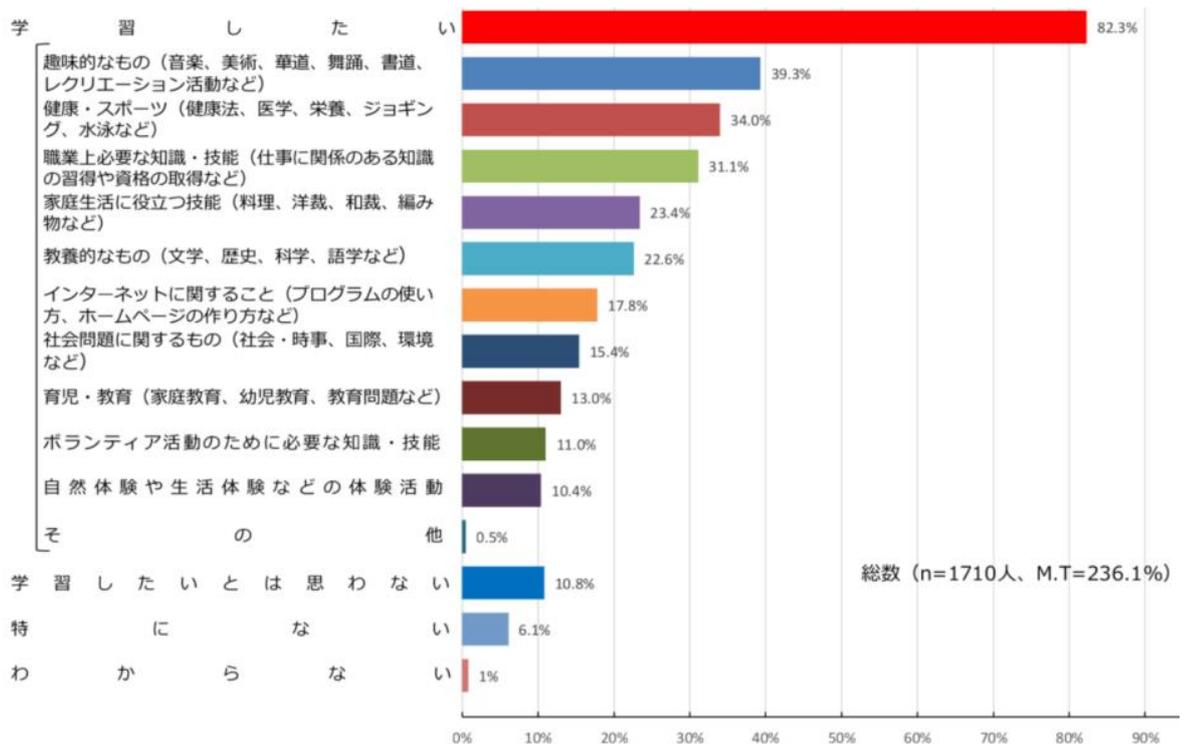
結果



(5) 今後学習したい内容

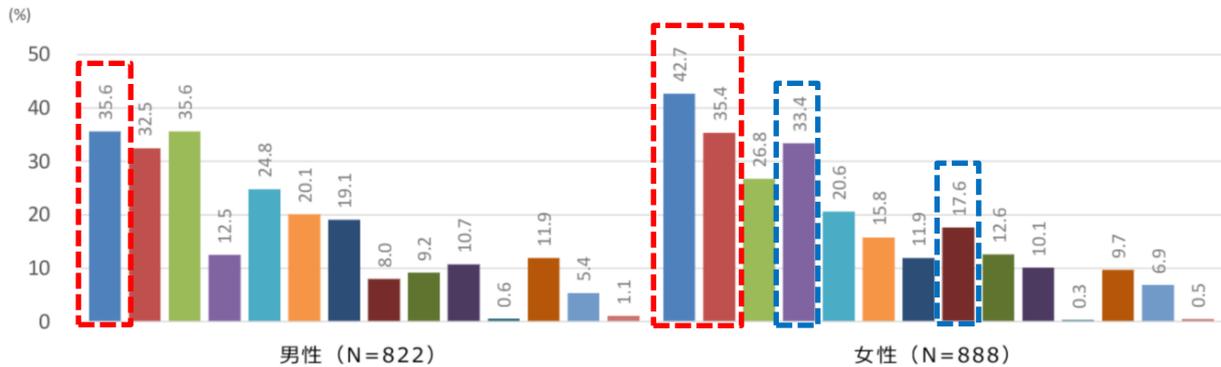
問5：これから学習するとすればどのようなことを学習したいですか。(複数回答)

結果1



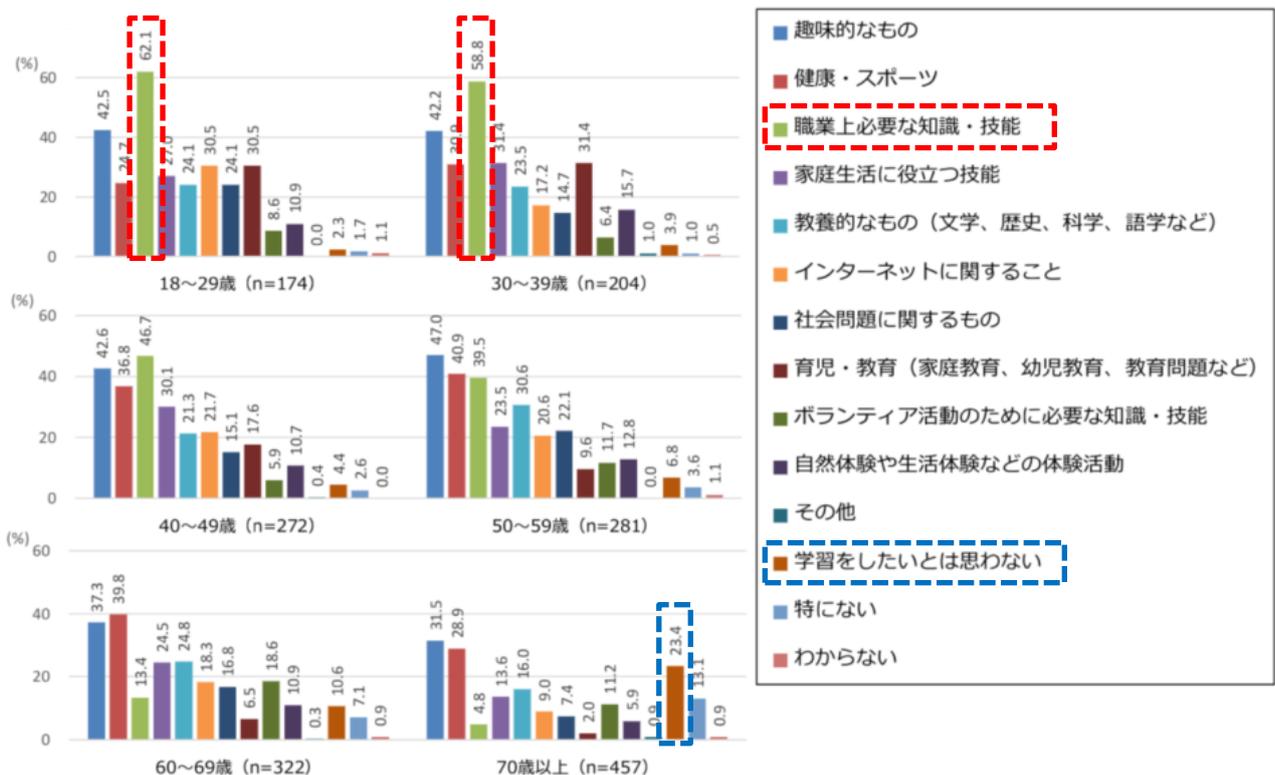
結果2：男女別の今後学習したい内容

- ・「趣味的なもの」、「健康・スポーツ」の回答は男女とも上位。
- ・「家庭生活に役立つ技能」、「育児・教育」の回答が女性において多い。



結果3：年代別の今後学習したい内容

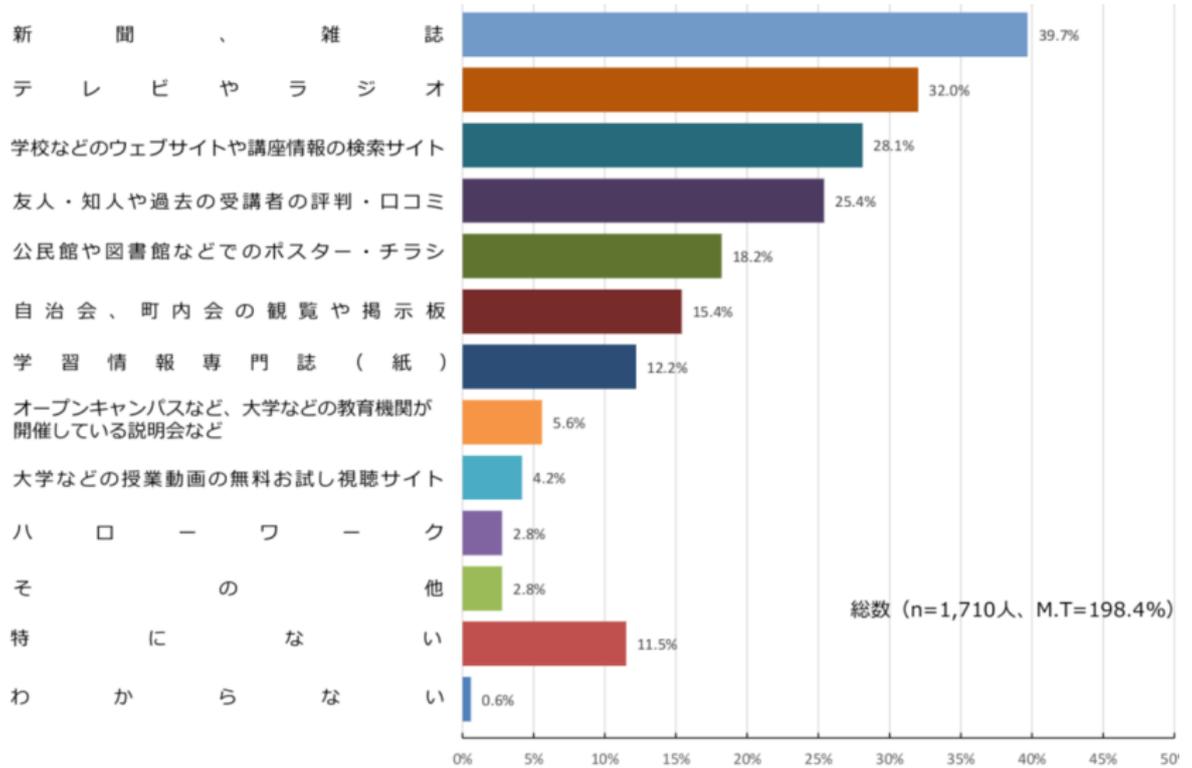
- ・若い年代ほど「職業上必要な知識・技能」の割合が多く、30代までは半数以上が選択。
- ・70歳以上では、「学習をしたいとは思わない」の割合が顕著に高い。



(6) 今後の情報収集の方法

問6：これから学習するとすれば、どこから情報収集を行いますか。

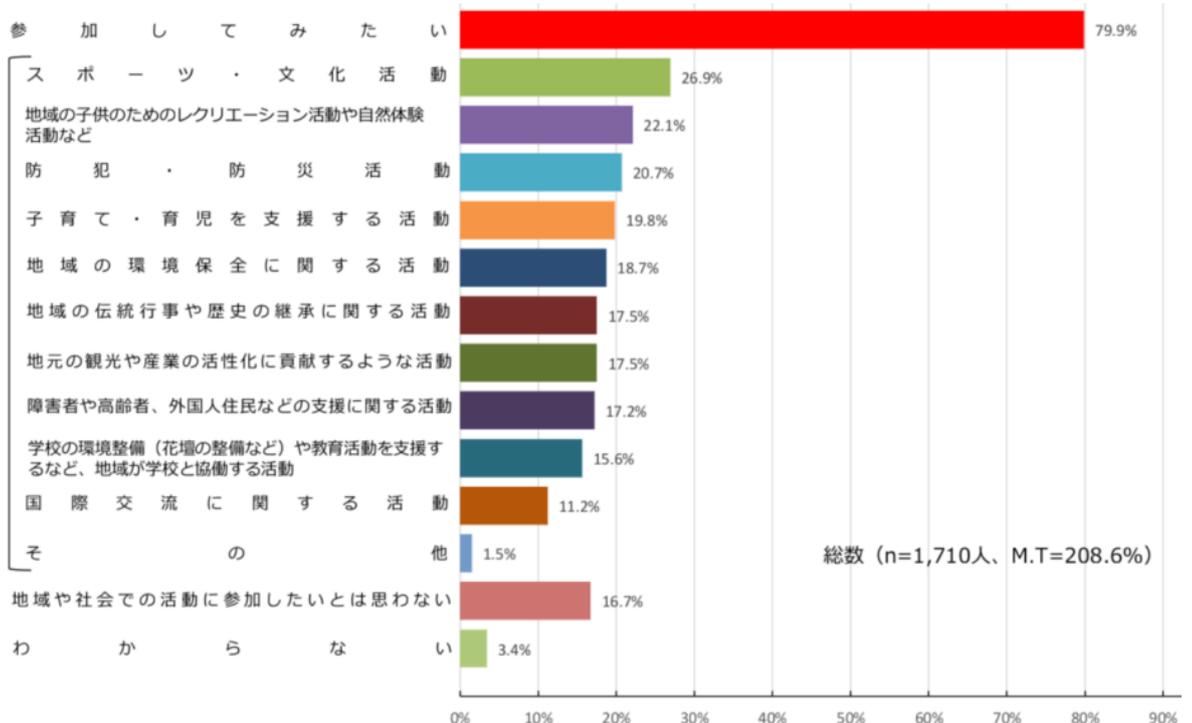
結果



(7) 地域社会での活動への参加意欲

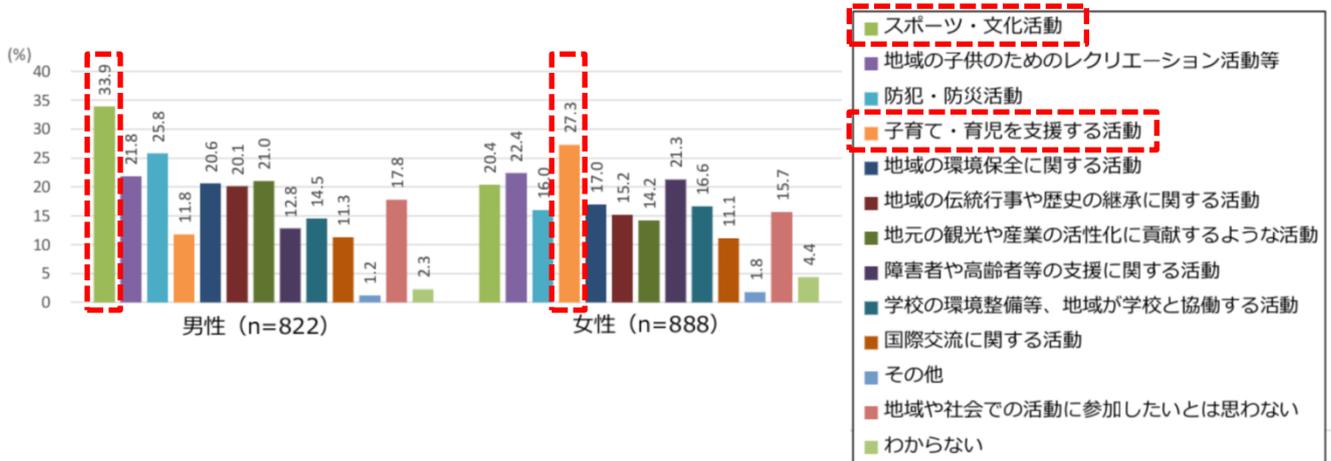
問7：あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。（複数回答）

結果1



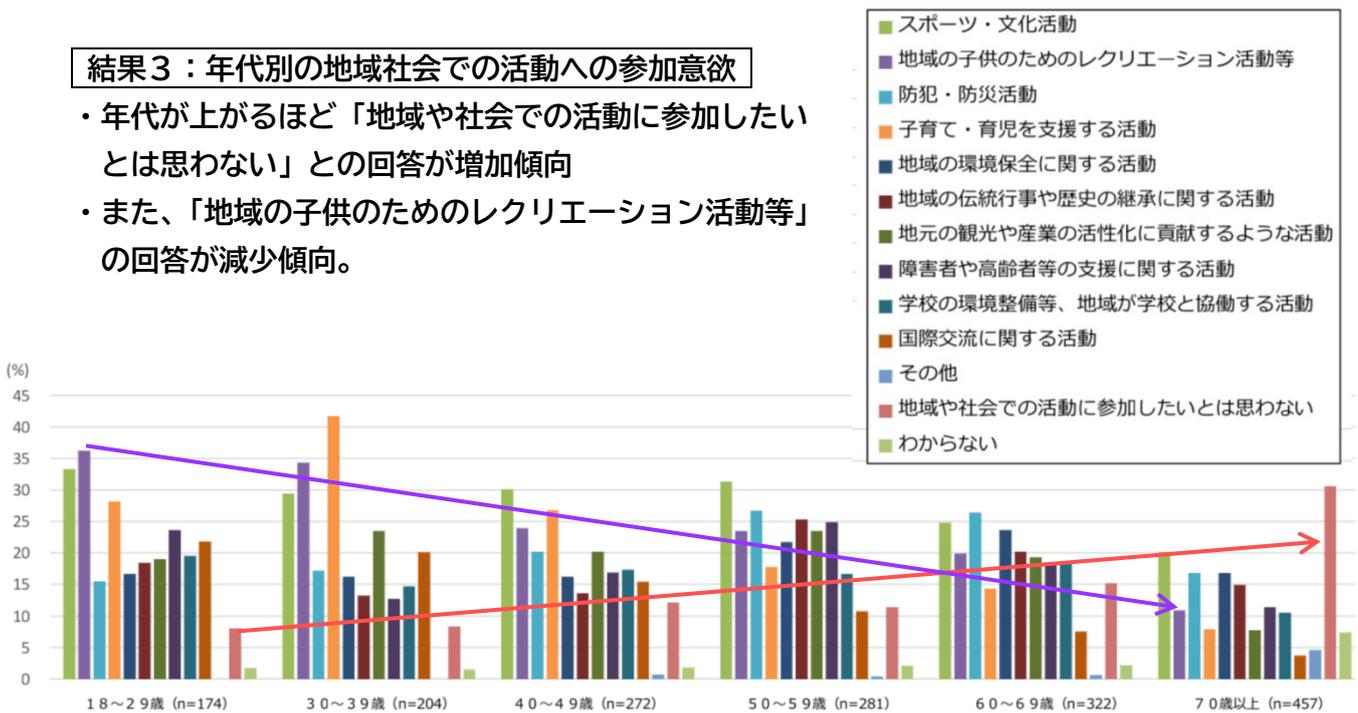
結果2：男女別の地域社会での活動への参加意欲

・男性では「スポーツ・文化活動」、女性では「子育て・育児を支援する活動」の割合が最も高い。



結果3：年代別の地域社会での活動への参加意欲

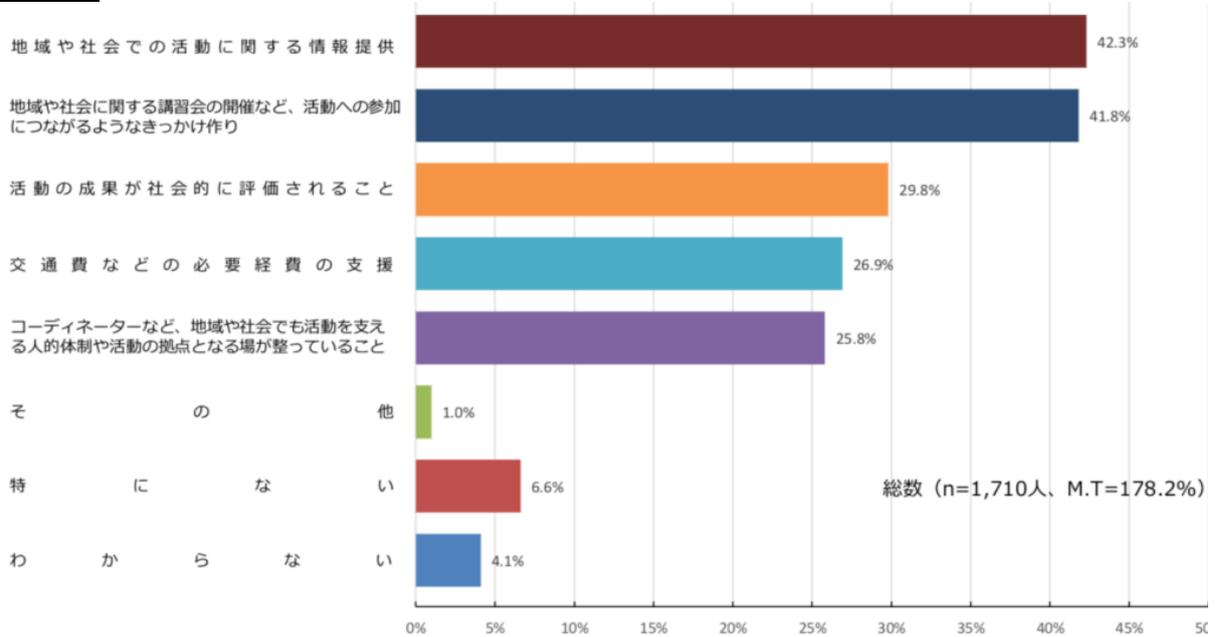
・年代が上がるほど「地域や社会での活動に参加したいとは思わない」との回答が増加傾向
 ・また、「地域の子供のためのレクリエーション活動等」の回答が減少傾向。



(8) 地域社会での活動への参加を促す方策

問8：多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

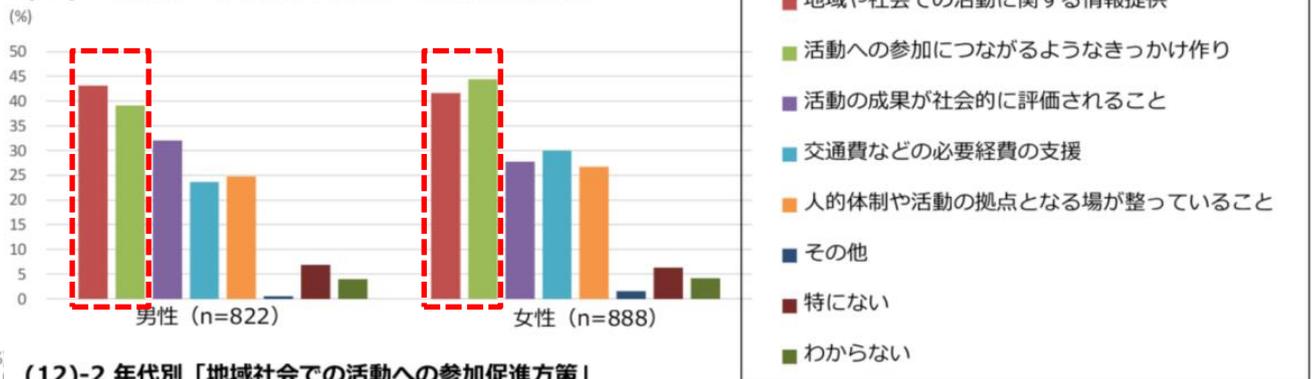
結果1



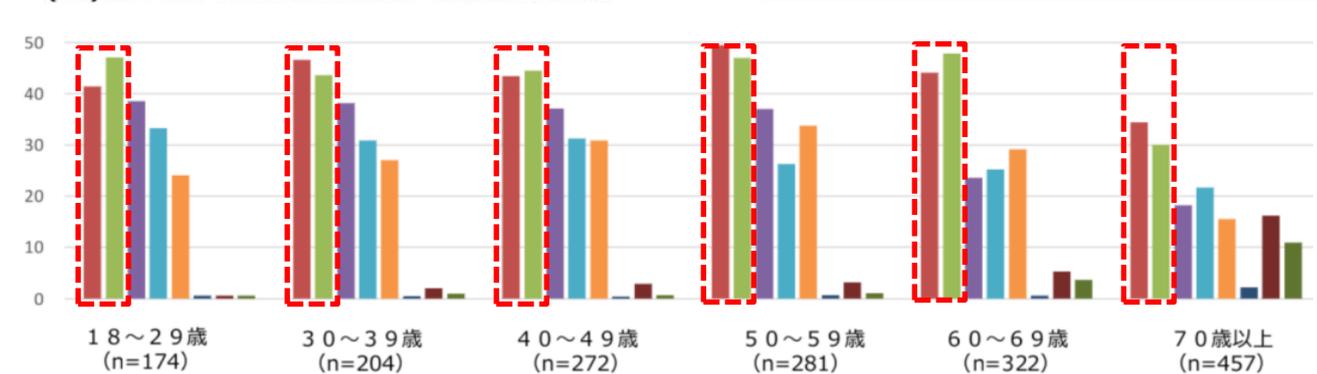
結果2：男女別、年代別の地域社会での活動への参加促進方策

・男女、各年代とも「地域や社会での活動に関する情報提供」や「活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が多く、活動のきっかけがつかめていない状況。

(12)-1 男女別「地域社会での活動への参加促進方策」



(12)-2 年代別「地域社会での活動への参加促進方策」



3 委員名簿

任期：令和3年6月～令和4年1月

敬称略

分類	氏名	役職等
1号委員	◎ 生駒 俊英	福井大学 准教授
2号委員	○ 佐々木 正祐	大野市社会教育委員の会議 委員長
2号委員	山本 耕平	大野市生涯学習推進会議 会長
2号委員	中出 良一	大野市新しいまちづくり運動推進協議会連絡会 会長
2号委員	牧田 紀子	大野市子ども会育成連合会 幹事
2号委員	飛石 めぐみ	ヨーガ教師
2号委員	岩田 千津子	人材活用登録指導者会（生涯学習人材活用登録指導者）
3号委員	山岸 謙	合同会社越前おおの荒島社
3号委員	林 敦子	越前信用金庫 美山支店長代理
公募	小嶋 秀穂	公募委員
	三浦 明子	公募委員

◎委員長 ○副委員長

1号委員・・・学識経験者

2号委員・・・家庭教育又は地域教育に関わる機関及び団体の関係者

3号委員・・・上記の者の他、教育委員会が適当と認めるもの

大野市生涯学習推進計画

発行 令和4年1月

編集 大野市教育委員会事務局生涯学習・文化財保護課

所在地 〒912-0087 福井県大野市城町9-1 学びの里「めいりん」内

TEL 0779-65-5590

FAX 0779-66-2885